

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

地域代表	区長会代表 婦人会代表 老人会代表 地域有識者
P T A代表	会長 副会長
学校	校長 教頭 教務主任
(9名)	
地域コーディネーター	金津地区区長会副会長 こども会育成連絡協議会長
(2名)	

(2) 協議会の開催計画

開催回数	3回
開催日程	6月12日 11月12日 3月5日(中止)
協議内容	・スクールプラン ・地域と進める体験推進事業 ・「1・8・1 生活チェック」 ・学校評価 ・地域の人材や活動

(3) 協議会における成果と課題

- ・教育活動に対する、忌憚のない感想や意見をいただく貴重な場として、有効に機能した。
- ・地域教育資源の活用への助言をいただき、ふるさと教育推進への一助となった。
- ・地域に支えられる学校として、より一層の協議会の充実を図っていきたい。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

体験を通して、ふるさとの特徴や良さに気づき、ふるさとあわら市に愛着と誇りをもち、将来のあわら市を担う児童を育成する。

「地域の人・もの・こと(ことがら)」に関する総合的、探究的な学習を通して、主体的に課題を解決し、自己の生き方を考えることができる資質・能力・態度を育成する。

(2) 活動の実際

①「ああ あわら贅沢」(6年)

自分たちの故郷である「あわら市」の魅力は何かを見つける活動を通して、児童たちは今まで気づかなかった故郷の良さを知り、この地に生まれ育つことの幸せを感じていった。そして、この素晴らしい故郷をたくさんの人に知ってもらい、故郷を活気づけるような手伝いができないかと考え、全員があわらの良さを伝える手作りパンフレットを作成し、修学旅行先の京都で観光客に配り、PR活動を行ってきた。ほとんどの方が快く話を聞いてくださり、帰校後何通かお礼の手紙も届き、地域の一員として活動できたことに達成感を感じていたようである。

(あわらの魅力を知ろう)

5月 ゲストティーチャーにあわらの魅力を紹介してもらおう

- ・あわらの魅力ってなあに・・・あわら市政策課長 武田さん
- ・あわらの食の魅力を知ろう・・・JA花咲ふくい 土橋さん
- ・あわらの歴史を知ろう・・・あわら郷土歴史資料館 九千房さん
- ・もうすぐ開通、北陸新幹線・・・福井県新幹線建設推進課 徳橋さん

6月 あわらの魅力を自分たちで調べてみよう

- ・各自で調べたいテーマを決め、同じテーマの児童でグループを作って、調べ合ったものをポスターにまとめていく。

7月 4年生も招待してポスターセッションを行い、調べたことを伝えたり、他のテーマの内容について知ったりして、内容を共有し意見交換をする。

(あわらの魅力を伝えよう)

9月 ・ポスターセッションをしてわかったことをもとに、あわら市の魅力を自分なりにまとめる。

10月 ・あわらの魅力を伝えるパンフレットを作る。

- ・修学旅行で、手作りパンフレットを配り、あわら市の魅力をPRする。

(様式2)



<パンフレットでPR活動の様子>

②「金津まつりの心を受けつごう」(5年)

地域の大きな行事である「金津まつり」を取り上げた。まず、地域コーディネーター・お囃子保存会の方をお迎えして、「金津まつり」についての歴史や、地域に住む人々の思いを知り、児童が地域のためにできることは何なのかを具体的に考えていった。また、まつりに来てくれた人が、気持ちよく過ごせるように、児童が手作りのイラスト入りのごみ箱を作成し、当日には、会場にごみ箱を設置した。イラストの中には、ユーモアあふれる子供らしい環境美化へのアピールがたくさん出てきて、地域の一員として、地域に貢献する態度や自覚を高めることができた。

5月 金津まつりについて調べよう

6月 金津まつりのことを教えてもらおう

7月 自分たちにできることは何なのか、考えよう



<金津まつりのことを教えてもらおう>



<ごみ箱作り>

(3) 地域コーディネーターの活動概要

お二人には昨年度に引き続き地域コーディネーターをお願いした。1年目の取り組みを継続発展させるだけでなく、新たな取り組みにもチャレンジしていきたいとの思いを伝え、継続発展させていくアイデアや、新たな取り組みへのご助言をいただいた。また、児童の企画・提案を実現させるため、「地域の人・もの・こと(ことがら)」との橋渡し役としてもご尽力いただいた。

(4) 特に工夫した事項

- ・本事業への取り組みは2年目である。本校がこれまで取り組んできた課題を探究する体験学習「やろっさ金津」をベースとし、1年目の取り組みを継続発展させながら、新しい「地域の人・もの・こと(ことがら)」を加え計画を進めた。
- ・児童の活動の様子を地域の方だけでなく、市外や県外の方にも知ってもらえるような活動に取り組むことができた。次年度さらに多くの方の理解と協力を得るよう、学校内外への情報発信に努めている。

(5) 成果と課題

1年目の取り組みを継続発展させたり、新たな取り組みにチャレンジしたりできたことで、ふるさとあわら市の特徴や良さに気づき、愛着や誇りを感じる場面を児童はこれまで以上に多くもてたと考える。ふるさとあわら市への愛着や誇りが児童の心にしっかり定着するように、児童の活動への主体性を高め、より積極的に「地域の人・もの・こと(ことがら)」と関わっていきけるようにしていく。